



平成 28 年 3 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社 医学生物学研究所
 代表者名 代表取締役社長 山田 公政
 (JASDAQ・コード4557)
 問合せ先 執行役員管理統括本部長 中井 邦彦
 電話番号 052-238-1901

特定子会社及び孫会社の異動に関するお知らせ

株式会社 医学生物学研究所（以下、「当社」といいます。）の100%出資の米国子会社（特定子会社）である MBL International Corporation（以下、「MBLI」といいます。）は、本日開催の MBLI の臨時株主総会において、当社及び当社の親会社である JSR 株式会社（以下、「JSR」といいます。）の100%子会社である JSR Micro, Inc. を割当先とする新株式発行を行うこと（以下、「本増資」といいます。）を決議し、当社及び JSR の取締役会においても同様の承認をいたしました。

これにより、MBLI 及び同社の完全子会社である BION Enterprises Ltd. が当社連結子会社から持分法適用会社へ異動しますので、お知らせいたします。

記

1. 異動の理由

当社の平成 27 年 2 月 9 日付プレスリリース「JSR 株式会社による当社株式に対する公開買付に関する意見表明のお知らせ」で表明致しました通り、当社は、米国展開強化など海外展開のシナジー追求を JSR グループ及び当社グループの主要連携項目の1つとしております。また、将来のグローバルな体外診断薬製品群育成を目指した事業開発を、その先端市場である米国を中核に進めていく事を志向しています。そうした中で重要性が増す MBLI の今後の運営においては、1) JSR Micro, Inc からの経営人材派遣を含むグループとしての米国経営管理の強化、2) JSR グループ及び当社による米国拠点の一体化と運営の明確化、並びに 3) MBL 製品群の販売を拡大するための体制強化といった施策の実施が重要と考えられ、JSR Micro, Inc. から出資を受け入れてこれらの施策を進めていく事が MBLI の企業価値増大に繋がり、当社にとっての企業価値増大にも繋がると判断致しました。

2. 異動する会社の概要

| | |
|---------------|--------------------------------------|
| (1) 名 称 | MBL International Corporation |
| (2) 所 在 地 | 米国 マサチューセッツ州 ウォーバーン |
| (3) 代表者の役職・氏名 | President & CEO 佐々木 淳 |
| (4) 事 業 内 容 | 主に体外診断用医薬品の製造・販売、基礎研究用試薬の研究・開発・製造・販売 |
| (5) 資 本 金 | 5,090 千ドル |

| | | | |
|----------------------------------|-----------------------------|--|------------------------------|
| (6) 設 立 年 月 日 | 平成5年11月26日 | | |
| (7) 大株主及び持株比率 (平成27年12月31日現在) | (株)医学生物学研究所 100.00% | | |
| (8) 上場会社と当該会社との間の関係 | 資本関係 | 当社が当該会社の議決権100%を保有しております。 | |
| | 人的関係 | 当社相談役が当該会社のPresident & CEOを兼務しております。 | |
| | 取引関係 | 当社の基礎研究用試薬を米国、欧州等で販売しております。また当該会社の完全子会社であるBION Enterprises Ltd.が製造する体外診断用医薬品を当社が日本国内で販売しております。 | |
| (9) 当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態 | | | |
| 決 算 期 | 平成24年12月期 (1ドル=86.58円換算) | 平成25年12月期 (1ドル=105.39円換算) | 平成26年12月期 (1ドル=120.55円換算) |
| 純 資 産 | 45,551千円 | 491,281千円 | 380,658千円 |
| 総 資 産 | 1,066,834千円 | 1,748,399千円 | 1,638,063千円 |
| 1株当たり純資産 | 28.47円 | 220.80円 | 171.08円 |
| 売 上 高 | 1,071,026千円 | 1,198,181千円 | 1,460,114千円 |
| 営業利益・損失(△) | 90,901千円 | △59,717千円 | △115,159千円 |
| 経常利益・損失(△) | 91,159千円 | △73,633千円 | △133,498千円 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益・損失(△) | 35,086千円 | △27,465千円 | △139,147千円 |
| 1株当たり当期純利益・損失(△) | 21.93円 | △14.75円 | △62.54円 |
| 1株当たり配当金 | 0円 | 0円 | 0円 |

3. 増資引受先 (JSR Micro, Inc.) の概要

| | | |
|----------------------------------|--|-------------|
| (1) 名 称 | JSR Micro, Inc. | |
| (2) 所 在 地 | 1280 North Mathilda Ave, Sunnyvale CA 94089 | |
| (3) 代表者の役職・氏名 | Eric Johnson, President | |
| (4) 事 業 内 容 | 主に半導体の製造に用いられるフォトレジストの製造・販売。ライフサイエンス分野では、診断試薬およびバイオプロセス材料などの北米市場開拓および販売。 | |
| (5) 資 本 金 | 21,700千ドル | |
| (6) 設 立 年 月 日 | 平成2年6月29日 | |
| (7) 純 資 産 | 76,192千ドル(平成27年3月期) | |
| (8) 総 資 産 | 101,749千ドル(平成27年3月期) | |
| (9) 大株主及び持株比率 (平成27年12月31日現在) | (株)JSR株式会社 100.00% (間接含める) | |
| (10) 上場会社と当該会社との間の関係 | 資本関係 | 該当事項はありません。 |
| | 人的関係 | 該当事項はありません。 |
| | 取引関係 | 該当事項はありません。 |

4. 子会社による増資の概要

| | | |
|-----------|-----------------|------------|
| (1) 発行株式数 | 5,500,000株 | |
| (2) 発行価額 | 1.0ドル | |
| (3) 発行総額 | 5,500,000ドル | |
| (4) 割当先 | JSR Micro, Inc. | 3,940,000株 |
| | 株式会社 医学生物学研究所 | 1,560,000株 |
| (5) 払込期日 | 平成28年4月1日(予定) | |

5. 移動後の所有株式の状況

| | 異動前 | 異動後 |
|-------------|------------|------------|
| (1) 当社所有株式数 | 2,225,000株 | 3,785,000株 |
| (2) 発行済株式数 | 2,225,000株 | 7,725,000株 |
| (3) 当社所有割合 | 100.00% | 49.00% |

6. 日程

| | |
|---------------|---------------|
| (1) 当社取締役会決議 | 平成28年3月14日 |
| (2) JSR取締役会決議 | 平成28年3月14日 |
| (3) 契約締結日 | 平成28年4月1日(予定) |
| (4) 払込期日 | 平成28年4月1日(予定) |

7. 今後の見通し

本増資により、当社におけるMBLI株式の保有割合が減少するため、MBLIは当社の連結の範囲外となり、持分法適用会社となります。

MBLIの決算月が12月であること、払込期日が平成28年4月1日であることから、当連結会計年度における影響はありません。来期以降の業績への影響につきましては、現段階ではまだ確定した計画はありませんので、判明次第、当社グループの連結業績予想に反映してまいります。

8. 支配株主との取引等に関する事項

(1) 支配株主との取引等の該当性及び少数株主の保護の方策に関する指針への適合状況

本増資は、当社の親会社であるJSRの100%子会社であるJSR Micro, Inc.との取引であり、支配株主との取引等に該当いたします。

当社が、平成27年12月15日に開示したコーポレート・ガバナンス報告書で示している「支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策に関する指針」は以下のとおりです。

「当社の親会社であるJSR株式会社は、当社議決権の50.36%（平成27年10月21日付で公衆の縦覧に供されている同社の大量保有報告書の変更報告書 No.4による）を保有しており、当社は同社の連結子会社となっております。当社の試薬事業において、親会社等の企業グループから原材料や製品を仕入れておりますが、市場価格等を勘案して一般取引条件と同様に決定し、支配株主との取引が少数株主の権利を害することがないように努めております。」

本増資に際しては、下記(2)及び(3)に記載のとおり、必要となる措置を講じており、上記指針の趣旨に適合していると考えております。

(2) 公平性を担保するための措置及び利益相反を回避するための措置に関する事項

本増資を決定するに当たって、以下の対応を行っております。

・新株発行の公正性に関する意見（いわゆる「フェアネス・オピニオン」）は取得していませんが、本

増資の公平性を担保するために、MBLI 株式の発行価額算定は、成長を織り込んだ MBLI 中期事業計画を基に、第三者機関である（株）ブルータス・コンサルティングを起用して実施した株式価値評価を参照し決定致しました。

- ・当社取締役会審議においては、支配株主である JSR の代表取締役を務める当社取締役の佐藤穂積氏は利益相反を回避するため審議及び決議に参加していません。
- ・当社の監査役 3 名全員は本取引の決議について異議がない事を表明しております。

（3）当該取引等が少数株主にとって不利益なものではないことに関する、支配株主と利害関係のない者から入手した意見の概要

支配株主と利害関係のない当社社外取締役（独立役員）の牛田雅之氏は、平成 28 年 3 月 14 日付けで当社の取締役会において以下の意見を表明しております。

- ・本取引の MBLI 株式の発行算定に当たって、独立した第三者機関である（株）ブルータス・コンサルティングから株式価値評価書を購入して決定していることから、株式価値決定プロセスに問題は見られなかった。
- ・充実した米欧現地法人を持ち 海外展開力に優れた JSR グループに MBLI 経営の主導権を担って貰う事により MBLI の企業価値が高められ、当社にとっての企業価値拡大にも繋がる期待が持てる。
- ・本増資に関し、利害が相反し又は相反するおそれがある JSR の代表取締役を務める当社取締役の佐藤穂積氏は利益相反を回避するため審議及び決議に参加していないこと等から本増資手続きは適法かつ公正であると認められる。

以上の点を総合的に考慮すると、本増資は当社の少数株主にとって不利益なものではないと考えられる。

以上